

会員卓話

高畑 吉宏 会員

「絵画について」

去年の3月に卓話が予定されていたのですが、諸事情により延期され、1年が経過してしまいました。諸先輩方を前に偉そうなことを話しても仕方がないので、今日は美術品(油絵・書・リトグラフ)を皆さんに見ていただきたく持ってまいりました。エピソードを交えながらお話していききたいと思います。



1点目の書ですが、2年前、浦田会員達と中国の桂林へ旅行へ行ってきました。掛け軸が何千点と展示されており、その中の奥の奥の特別展示室にあった作品で、一目惚れし、80万円で購入しました。そして先月ゴルフで桂林の同じ店に行ったのですが、そこで覚えていてくれた店員が「あなたの買った書は今300万円です！」と言われました。

2点目の絵は、今年102才か103才で亡くなられた「片岡球子」さんの絵です。これは、たまたま画商に勧められて買ったもので、セントラレア空港に見学に行ったときに壁画として大きく描かれていました。

3点目の絵が本邦初公開の1億円の絵です。この絵は多分ご覧になった方はいないと思います。東宮御所が唯一買い上げている日本人画家「松本富太郎」の絵です。20年位前、東京で不動産の仕事をしていた頃、会社で30億で中古ホテルを買い取ったのですが、仲介の不動産屋さんの70才ほどのおじいちゃんが大変喜んでくれて、会社に何十号の絵を3枚いただきました。その後、また電話がかかってきて「この間贈った絵はそんなに高価ものではなく、どうしても高畑さんにあげたい絵がある」と東海道線に乗って東京から茅ヶ崎まで届けてくれました。「90才くらいの方だから亡くなったら1億円くらいになるから！」と言っていました。美術年鑑にも「横網格」で載っている画家です。本当かなと、10年位前に銀座の画廊へ持って行ったのですが、女将が「1号8万円(8×8=64万円)ならず欲しい人がいますよ？」と言われました。1億円が頭にあったので、とんでもないと持ち帰りました。1週間後に、松本富太郎の個展を横浜の高島屋でやったことを聞き、1週間絵を預けました。その後電話があり、「1号8万円ならず欲しいという方がいます。」と言われました。しかし、1億円が頭にあったのでとんでもないと断りました。結局信じられなくなり、売ることを止めて、高畑家の家宝にしようとして押し入りにしてあります。

会社の事務所には風水画などいろいろありますので、一度いらして下さい。いつかお金が貯まったらギャラリーでもやってみるのが夢です。



作：陽太陽



作：片岡球子



作：松本富太郎

委員会報告

■見城副会長

- ・各リーダーの方、IGMを開催して下さい。
- ・事業計画書の提出をお願いいたします。

■社会奉仕委員会(曾根田委員長)

- ・5/25アドプト清掃活動/9:30安倍川橋下集合
- ・予定していた「エイズ孤児キャンペーン」は中止となります。

出席報告..... 宮崎委員

	月/日	出席計算 会員数	出席者	欠席者	出席率	メイク アップ	確 定 出席率
前々回	4/14	51名	42名	7名	—	2名	90.0%
前 回	4/21	51名	41名	8名	—	(2名)	—
本 日	4/28	51名	40名	名	—	(名)	—